

用語

標準和名

同種の鳥でも、各地方によって呼び名に違いがある。これでは学問上不便なので、関連する学会によって認定されている名前のこと。

学名

種の世界共通の学術上の名前で、ラテン語で表記されている。最初に属名、次に種小名が記されている。

英名

英語圏の諸外国で使われている標準的な名前。種によって、日本に渡来する亜種がアメリカ大陸のものは、米国名(米国人がよく用いる名前)を記したものもある。

種

自然界に生息する生物を進化、系統的に分類し、理解するための最も重要な基本単位。形態的のみならず、生態的にも他と異なる独自性もあり、もちろん遺伝学的にも独自、同一性のある生物集団(個体群)のこと。自然界では、正常な条件下では2つの異なる種は、同じ地域に生息していても交雑しない。

亜種

種を細分した分類学上の単位。鳥類の亜種とは、同種ではあるが繁殖地が異なり、しかも同種の他の亜種とは形態、羽色などが明確に区別できる生物集団(個体群)のこと。シジュウカラのように20数亜種に分類されている(分化している)種もあれば、ヒレンジャクのように亜種に分化していない種もある。

留鳥

同じ地域に一年中生息し、季節移動しない鳥(種)。しかし、一年中同じ種がそこにいても、個体が入れ替わっていたり、季節的に移入してきた個体を一部含む場合もある。

漂鳥

国内を季節移動する鳥(種)。北海道で繁殖し、本州以南で越冬するものや、高知で繁殖し、低地で越冬するものなどで、日本の留鳥の多くはこれに当たる。

夏鳥

日本を対象地域とすると、春に日本より南の地域から渡ってきて日本で繁殖し、秋には南の地域へ渡って越冬する鳥(種)。

冬鳥

秋に日本より北の地域から渡ってきて日本で越冬し、春には北の地域へ帰って繁殖する鳥(種)。

旅鳥

渡りの途中に日本に立ち寄る鳥で、一般には日本より北の繁殖地と日本より南の越冬地を往復する鳥(種)。ハシボソミズナギドリのように、繁殖地が日本より南にある鳥(種)も含まれる。

迷鳥

正常な生息地域でない地域に迷行した鳥のこと。

成鳥

幼鳥、若鳥、亜成鳥、未成鳥などに対する用語で、性的に成熟した繁殖能力のある鳥のこと。多くの種では幼鳥羽と成鳥羽はかなり異なっている。幼鳥羽から成長して、これ以上羽毛の変化が進まなくなった年齢の個体を、一般に成鳥羽の個体という。

若鳥

一般に成鳥に対して若い鳥のこと。成鳥羽にかわるまでの若い個体。スズメ目の種では、若鳥という用語はあまり用いらず、比較的大型の鳥では、幼鳥、若鳥、成鳥というような順で個体の幼成を表現することが多い。

幼鳥

卵からかえって羽毛が生えそろう、第1回換羽までの間の個体は幼羽幼鳥という。スズメ目の種では満1歳までの個体を幼鳥といっている。



全長(L)

17cm

生息環境

川、湖沼、
池、水路など

時期

留鳥又は
漂鳥

カワセミ

繁殖鳥: LP

ブッポウソウ目カワセミ科カワセミ属

Alcedo atthis

Common Kingfisher

行動

繁殖期以外は1羽で生活し、縄張り性は強い。木の枝や杭などから直接水中に飛び込んだり、水面上での停空飛行から水中に突っ込んだりして魚類や水生昆虫類をとらえる。獲物が大きいと、木や石にたたきつけて弱らせ、骨を砕いてから飲み込む。川岸の土壁、山道などの垂直な土壁に横穴を掘って巣にする。

特徴

雌雄ほぼ同色。成鳥の翼は黒っぽく、薄い青色の斑があり、光の具合で緑色や青色にも見える。



全長(L)

15cm

生息環境

針広混交林、
落葉広葉樹林

時期

留鳥

コゲラ

キツツキ目キツツキ科アカゲラ属

Dendrocopos kizuki

Japanese Pygmy Woodpecker

行動

1羽かつがいで生活するものが多く、非繁殖期はシジュウカラの群れに混じることもある。一定の区域内を木から木へと一日中移動し、クモ類、昆虫類を樹上で採食する。また、マユミの実を食べたり、サクラの花蜜などを吸ったりもする。枯れ枝に穴を開けて営巣する。

特徴

雌雄ほぼ同色。頭部は褐色で、雄の後頭部から左右両側にそれぞれ3~10枚の小さな赤色羽がある。



全長(L)

24cm

生息環境

落葉広葉樹林、
針広混交林

時期

留鳥

アカゲラ

キツツキ目キツツキ科アカゲラ属

Dendrocopos major

Great Spotted Woodpecker

行動

林内での行動が多いが、背丈の低い草地や舗装されていない道路、農耕地などの地上に降りて採食することがある。昆虫類を好んで食べ、木の実も採食する。飛翔は大きい波状飛行で、直線的。枯れ木、生きている木のどちらにも自分で穴を掘って営巣する。

特徴

雌雄ほぼ同色。成鳥雄は頭と顎線が黒く、後頭は赤い。上面は黒く、肩羽と雨覆の白色部分は大きな斑になる。



全長(L)

56cm

生息環境

海岸部、湖沼

時期

冬鳥

カンムリカイツブリ 越冬鳥・VU
カイツブリ目カイツブリ科
カンムリカイツブリ属

Podiceps cristatus
Great Crested Grebe

行動

冬は、1羽から数十羽で行動する。3~4月の渡りの時期には、100羽を超える群れにもなり、ハジロカイツブリと群れになることもある。潜水して魚類をとる。

特徴

雌雄同色。日本のカイツブリ類中最大。頸は長く伸ばしていることが多く、その分胴体は短く感じる。



全長(L)

33cm

生息環境

森林、農耕地、
村落、公園など

時期

留鳥又は
漂鳥

キジバト

ハト目ハト科キジバト属

Streptopelia orientalis
Eastern Turtle Dove

行動

樹木の実や芽、さまざまな草の種子を食べ、ときには動物質のものも食べる。繁殖期には少し高く舞い上がっては滑翔する、求愛飛行を行う。繁殖するのはあるから夏が多いが、その他の季節でも繁殖する。

特徴

雌雄同色。頭から背、体下面は灰褐色で、灰色味がある。頸側には青灰色と紺色の縞模様がある。



全長(L)

81cm

生息環境

河川、
湖沼、
海岸

時期

留鳥

カワウ

ペリカン目ウ科ウ属

Phalacrocorax carbo
Common Cormorant

行動

潜水して魚類をとる。ウ類の翼は他の水鳥に比べて、水をはじく油分が少ないので水分を吸収しやすい。そのため、石の上やテトラポット、樹上などにとまり、翼を広げて羽を乾かす。公園、山地、島などの樹上にコロニーをつくって繁殖する。

特徴

雌雄同色。全体は細く見える。水面に浮かんでいるときには、体の半分以上が沈んだように見え、嘴はやや上に向けている。